

子ども・子育て支援に係るニーズ調査 【小学生保護者用】

【調査ご協力をお願い】

市民の皆様には、日頃から市政の推進について、ご理解とご協力いただき厚くお礼申し上げます。

相生市では、早ければ平成27年度に施行が予定されている「子ども・子育て支援新制度」の実施に向けた準備を進めております。新制度は幼児期の学校教育・保育や、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するための制度で、国が定める「基本指針」に基づいた「子ども・子育て支援事業計画」を各市町村が策定することとされています。

つきましては、皆様の子育て支援に関する現在の状況、今後の利用希望など地域における様々なニーズを正確に把握し、「子ども・子育て支援事業計画」の策定に活かしていくため、「子ども・子育て支援に係るニーズ調査」を行うこととなりました。

この調査は、住民基本台帳の中から小学生（1年～4年生）のお子さん500人を無作為に選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子育て支援施策の検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

また、皆様から頂きましたご回答の集計結果は、市の広報紙及びホームページを通じて公表いたします。

相生市の総合的な子ども・子育て支援対策の推進に向けた大変重要な調査ですので、ご多忙のこととは存じますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

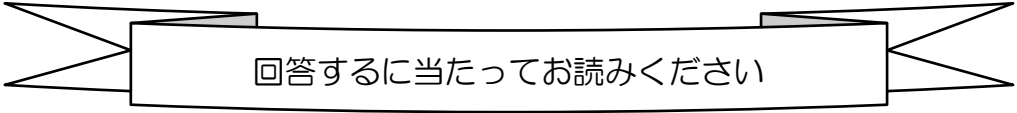
平成25年10月

相生市長 谷口芳紀

【ご記入にあたってのお願い】

1. 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さん（10月末現在）の状況についてご記入ください。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。なお、数字は口欄に右づめでご記入ください。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
5. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時→18時）でご記入ください。
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
7. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れて11月15日（金）までにご投函ください。
8. お問い合わせは、健康福祉部子育て支援室までお願いします。

（電話22-7175）



回答するに当たってお読みください

相生市では、子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています。（平成 27 年度から実施予定）

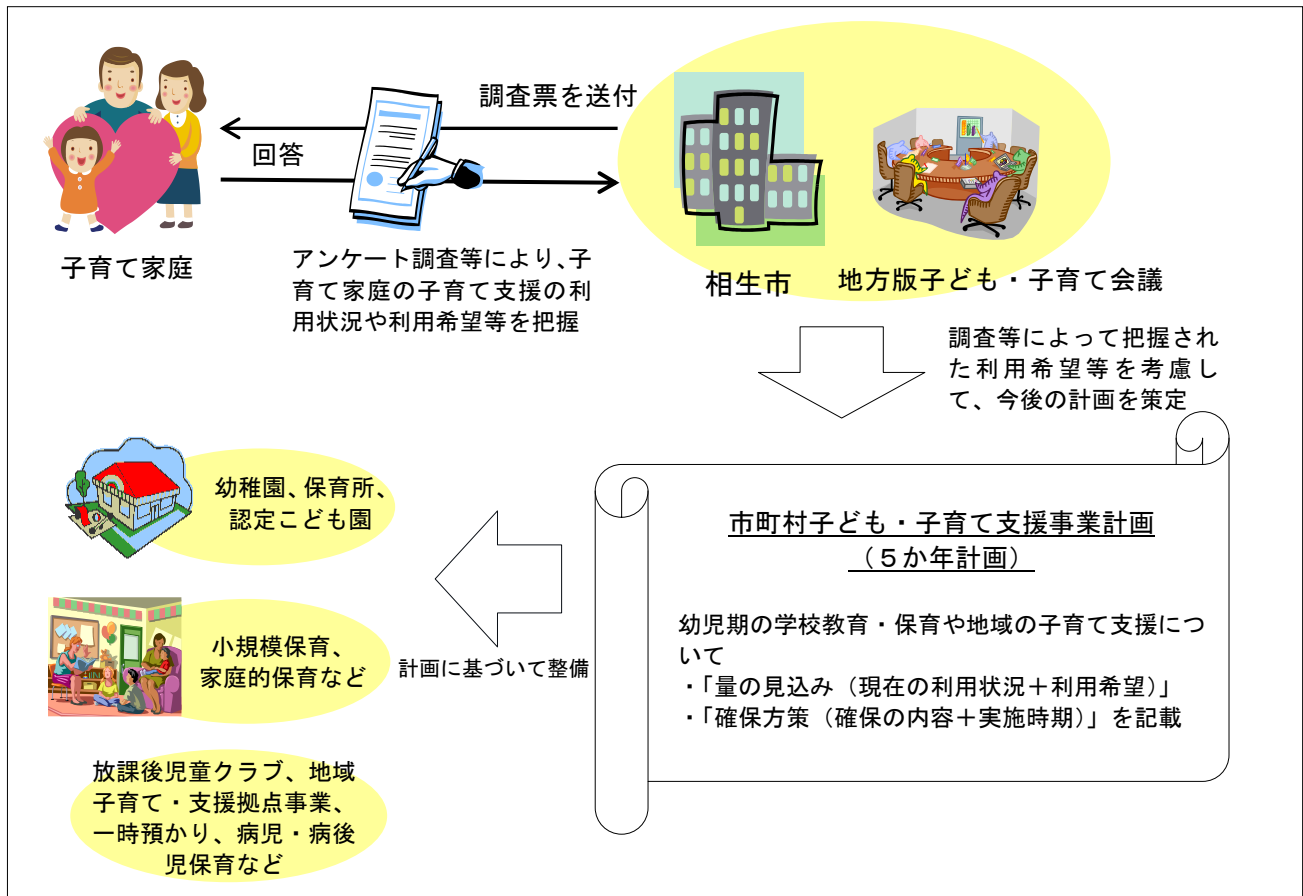
本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を相生市が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

ごきょうだいについても、利用時期等が異なるためお子様全員の状況を把握する必要があります。お手数ですが、個々のお子様について、それぞれの調査票においてご回答をお願いいたします。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・ 幼 稚 園 : 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
(学校教育法第22条)
- ・ 保 育 所 : 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
(児童福祉法第39条)
- ・ 認 定 こ ど も 園 : 幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
- ・ 子 育 て : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教 育 : 問6までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問7以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 あて名のお子さんがお住まいの地区はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 1. 相生小学校区 | 2. 那波小学校区 | 3. 双葉小学校区 | 4. 若狭野小学校区 |
| 5. 矢野小学校区 | 6. 青葉台小学校区 | 7. 中央小学校区 | |

あて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年月と学年を記入してください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)

平成	<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	月	生まれ	小学	<input type="text"/>	年生
----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---	-----	----	----------------------	----

問3 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|---------|---------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他() | | | |

あて名のお子さんの保護者の働き方についてうかがいます。

問4 あて名のお子さんの保護者の現在の働き方(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。
(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--|----------|
| 1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の働き方)で働いており、産休・育休・介護休業中ではない | ⇒ (1)-1へ |
| 2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の働き方)で働いているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の働き方)で働いており、産休・育休・介護休業中ではない | |
| 4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の働き方)で働いているが、産休・育休・介護休業中である | |
| 5. 以前は働いていたが、現在は働いていない | ⇒ (2)へ |
| 6. これまで働いたことがない | |

(1)で「1.～4.」に○をつけた方にうかがいます。

(1)-1 週当たりの「働く日数」、1日当たりの「働く時間（残業時間を含む）」「家を出る時刻」「帰宅時刻」をお答えください。日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状態についてお答えください。時間は、必ず（例）08時30分～18時45分のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間				
家を出る時刻	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	<input type="text"/>	分				
				帰宅時刻	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	<input type="text"/>	分

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない	} ⇒ (2)-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）で働いているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の働き方）で働いており、産休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の働き方）で働いているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は働いていたが、現在は働いていない	
6. これまで働いたことがない	
	} ⇒ 問6へ

(2)で「1.～4.」に○をつけた方にうかがいます。

(2)-1 週当たりの「働く日数」、1日当たりの「働く時間（残業時間を含む）」「家を出る時刻」「帰宅時刻」をお答えください。日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は休業に入る前の状態についてお答えください。時間は必ず（例）08時30分～18時45分のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間				
家を出る時刻	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	<input type="text"/>	分				
				帰宅時刻	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	<input type="text"/>	分

問5 問4の(1)または(2)で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で働いている)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問6へお進みください。

フルタイムで働きたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の働き方)で働きたいと思っており、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の働き方)で働きたいと思っているが、実現できる見込みはない
3. 今後もパート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で働くことを希望している
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の働き方)で働きたいと思っており、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の働き方)で働きたいと思っているが、実現できる見込みはない
3. 今後もパート・アルバイト等(「フルタイム」以外)で働くことを希望している
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問6 問4の(1)または(2)で「5. 以前は働いていたが、現在は働いていない」または「6. これまで働いたことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問7へお進みください。

働きたいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。(数字は一枠に一字)

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)
2. 1年後以降で 年後から働きたい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい
※ 下記の当てはまる記号1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。
(数字は一枠に一字)
→希望する働き方

{	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の働き方)
	イ. パート・アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間
4. その他 ()

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）

2. 1年後以降で 年後から働きたい

3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい
 ※ 下記の当てはまる記号1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。
 （数字は一枠に一字）

→希望する働き方

{	ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方）
	イ. パート・アルバイト等（「ア」以外）

→1週当たり 日 1日当たり 時間

4. その他（ ）

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問7 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。

1. あった ⇒ 問7-1へ	2. なかった ⇒ 問8へ
-----------------------	----------------------

問7-1 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだときの対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。（数字は一枠に一字）

1年間の対処方法	日数
1. 父親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 母親が休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
3. （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
4. 父親又は母親のうち働いていない方が子どもをみた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
5. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
6. ファミリー・サポート・センターを利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
8. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日

⇒「1」「2」を選んだ方は、**問7-2へ**
 ⇒「3」～「8」を選んだ方は、**問8へ**

問7-1で「1」「2」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問7-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

- | | | | |
|---------------------------|----------------------|-----|----------------|
| 1. できれば病児・病後児保育施設を利用したい ⇒ | <input type="text"/> | 日 ⇒ | 問7-3へ |
| 2. 利用したいとは思わない | | | ⇒ 問7-4へ |

問7-3 問7-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） |
| 4. その他（ <input type="text"/> ） |

⇒ **問8へ**

問7-4 問7-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない | 4. 利用料がかかる・高い |
| 5. 利用料がわからない | 6. 親が仕事を休んで対応する |
| 7. その他（ <input type="text"/> ） | |

⇒ **問8へ**

あて名のお子さんの一時預かり等（宿泊を伴う場合を含む。）の利用についてうかがいます。

- 問8 保護者の緊急の用事（病気、入院、出産、急な仕事等）のために、家庭での養育が一時的に困難となった場合に、児童養護施設等を利用する必要があると思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）
- ※ 利用には、一定の利用者負担が発生します。

1 保護者の緊急の用事（病気、入院、出産等）のために利用したい	➡	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	日
2 急な仕事のために利用したい	➡	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	日
3 その他（ のために利用したい	➡	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	日
4 利用したいとは思わない			

※ 一時預かりは、緊急性のある場合にのみ利用することができます。

⇒ 問9へ

- 問9 この1年間に、保護者の用事により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

1 （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	➡	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	泊
2 子育て短期支援事業（ショートステイ）を利用した	➡	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	泊
3 仕方なく子どもを同行させた	➡	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	泊
4 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	➡	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	泊
5 その他（ ）	➡	年 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	泊
6 みてもらわなければならないことがなかった			

⇒「1」を選んだ方は、問9-1へ

⇒「2」～「6」を選んだ方は、問10へ

- 問9-1 あて名のお子さんを親族・知人にみてもらうことは難しかったですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に難しかった	2. どちらかというとな難しかった	3. 難しくなかった
-------------	-------------------	------------

⇒ 問10へ

あて名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 10 あて名のお子さんは、放課後（平日（月曜日から金曜日まで）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数・時間も口内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

1 自宅	⇒	週 <input type="text"/> 日くらい
2 祖父母や友人・知人宅	⇒	週 <input type="text"/> 日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	⇒	週 <input type="text"/> 日くらい
4 放課後子ども教室	⇒	週 <input type="text"/> 日くらい
5 放課後児童クラブ（学童保育）	⇒	週 <input type="text"/> 日くらい ⇒下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6 ファミリー・サポート・センター	⇒	週 <input type="text"/> 日くらい
7 その他（公民館、県民交流ひろば、公園など）	⇒	週 <input type="text"/> 日くらい

※ 事業の概要は、別紙「相生市の子育て支援サービス」をご覧ください。

放課後児童クラブ(学童保育)についてうかがいます。

問 11 あて名のお子さんについて、小学校 1～3 年生のうち、放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいと思いますか。下記の区分ごとにそれぞれ当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。また、利用したい時間帯を、口内に（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

※ 放課後児童クラブ（学童保育）…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

※ 事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

①平日の放課後	1 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで利用したい
	2 利用する必要はない
②学校休業日	1 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで利用したい
	2 利用する必要はない
③長期休業中 (夏休み・冬休み等)	1 <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで利用したい
	2 利用する必要はない

⇒①～③のいずれかで「1」を選んだ方は、問 11-1 へ

⇒①～③の全部で「2」を選んだ方は、問 12 へ

問11の①～③のいずれかで「1」を選んだ方にうかがいます。

問11-1 あて名のお子さんが小学校高学年（4～6年生）になったとき、放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいと思いますか。①4年生、②5年生、③6年生ごとに、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 事業の利用には一定の利用者負担が発生します。

①4年生	1 利用したい	2 長期休業中のみ利用したい	3 利用したいと思わない
②5年生	1 利用したい	2 長期休業中のみ利用したい	3 利用したいと思わない
③6年生	1 利用したい	2 長期休業中のみ利用したい	3 利用したいと思わない

現在国では、地域社会の中で、放課後等に子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進するため、各市町村において、教育委員会が主導して福祉部局と連携を図り、原則として全ての小学校区において「放課後子ども教室」と「放課後児童クラブ(学童保育)」を一体的あるいは連携して実施する総合的な放課後対策として「放課後子どもプラン」の推進を図っています。

本市では、「放課後児童クラブ(学童保育)」と連携して、小学校で全児童を対象とした事業「放課後子ども教室」を実施しています。

平成25年度は、開級数6学級（相生小、那波小、双葉小、若狭野小、青葉台小、中央小）
登録人数 330名

⇒ 問12へ

放課後子ども教室についてうかがいます。

問12 放課後子ども教室を知っていましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 放課後子ども教室…地域の方々の協力を得て、放課後に小学校などで学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず全ての小学生が利用できます。

1. 知っていた 2. 知らなかった

問13 放課後子ども教室を利用したいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい日数を、□内にご記入ください。「2」の利用したいと思わないを選んだ方はその理由をご記入ください。

1. 利用したいと思う → 週 日くらい

2. 利用したいと思わない (理由:)

3. わからない

すべての方に、子育てに関する悩みや不安感についてうかがいます。

問 14 子育てに関して不安感や負担感などはお感じですか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 非常に不安や負担を感じる | 2. なんとなく不安や負担を感じる |
| 3. あまり不安や負担などは感じない | 4. まったく感じない |
| 5. なんともいえない | |

問 15 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 病気や発育・発達に関すること |
| 2. 食事や栄養に関すること |
| 3. 育児の方法がよくわからないこと |
| 4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと |
| 5. 子どもとの時間を十分にとれないこと |
| 6. 話し相手や相談相手がいらないこと |
| 7. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと |
| 8. 子どもの教育に関すること |
| 9. 友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること |
| 10. 登校拒否、不登校などの問題について |
| 11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと |
| 12. 子育てに関しての配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと |
| 13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること |
| 14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと |
| 15. 子どもを叱りすぎているような気がする |
| 16. 子育てのストレスがたまり、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと |
| 17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと |
| 18. その他（ ） |
| 19. 特にない |

問 16 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|----------------------------|
| 1. 子育てによる身体の疲れが大きい | 2. 子育てで出費がかさむ |
| 3. 自分の自由な時間が持てない | 4. 夫婦で楽しむ時間がない |
| 5. 仕事が十分にできない | 6. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない |
| 7. 子どもが病気がちである | 8. 住居が狭い |
| 9. その他（ ） | 10. 負担に思うことは特にない |

問 17 仕事と子育てを両立させえる上で大変だと感じることは何ですか。主にあてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

1. 急な残業が入ってしまう
2. 自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒を見る人がいない
3. 家族の理解が得られない
4. 職場の理解が得られない
5. 子どもの他に面倒をみななければならない人がいる
6. 子どもの面倒をみてくれる施設などが見つからない
7. 子どもと接する時間が少ない
8. その他 ()

すべての方に、子育てに関する悩みの相談相手についてうかがいます。

問 18 身近な地域で子育てに関する悩みや不安をどなたに相談していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 2. その他の親族（親、きょうだいなど） |
| 3. 知人や友人 | 4. 近所の人 |
| 5. 職場の人 | 6. 保育所、幼稚園、学校の保護者の仲間 |
| 7. 子育てサークルの仲間 | 8. 子育てサポーター |
| 9. 保育士・幼稚園の先生・学校の先生 | 10. 医師・保健師・看護師・栄養士など |
| 11. 家庭児童相談室（子育て支援室） | 12. 地域子育て支援センター（子育て学習センター） |
| 13. まちの子育てひろば（子育てサロンなど） | 14. 母子自立支援員 |
| 15. 民生・児童委員、主任児童委員 | 16. 少年育成センター（教育相談） |
| 17. 保健センター（健康介護課） | 18. 健康福祉事務所 |
| 19. こども家庭センター（児童相談所） | 20. 民間の電話相談 |
| 21. ベビーシッター | 22. 相談相手がない |
| 23. その他 () | 24. 相談する悩みや不安はない |

すべての方に、市の子育て・定住施策についてうかがいます。

問 19 あなたは、相生市にお住まいになって何年になりますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※一度市外に転出して、また転入した方は、通算の年数をお答えください。

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年～3年未満 | 3. 3～5年未満 |
| 4. 5年～10年未満 | 5. 10年～20年未満 | 6. 20年～30年未満 |
| 7. 30年以上 | | |

問 23 問 22 で「利用している（利用したことがある）」と答えた事業の満足度について、「1」～「5」のうち当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

※あて名以外のお子様該当する場合も含めてお答えください。

満足度が低い ← → 満足度が高い

	不満	やや不満	どちらでもない	やや満足	満足
出産祝金支給事業	1	2	3	4	5
保育料軽減事業	1	2	3	4	5
市立幼稚園預かり事業	1	2	3	4	5
市立幼稚園給食事業	1	2	3	4	5
給食費無料化事業	1	2	3	4	5
子育て応援券交付事業	1	2	3	4	5
乳幼児等・こども医療費助成事業	1	2	3	4	5
新婚世帯家賃補助金交付事業	1	2	3	4	5
若者定住促進奨励金交付事業	1	2	3	4	5
転入者住宅取得奨励金交付事業	1	2	3	4	5
相生っ子学び塾事業	1	2	3	4	5

問 24 「子育て応援都市」を宣言している相生市の子育て・定住施策として相生市が取り組んでいる事業の必要性についてうかがいます。項目ごとにあてはまる事業の番号 1 つに○をつけてください。

必要性が低い ← → 必要性が高い

	必要性 低い	必要性 やや低い	どちらでもない	必要性 やや高い	必要性 高い
出産祝金支給事業	1	2	3	4	5
保育料軽減事業	1	2	3	4	5
市立幼稚園預かり事業	1	2	3	4	5
市立幼稚園給食事業	1	2	3	4	5
給食費無料化事業	1	2	3	4	5
子育て応援券交付事業	1	2	3	4	5
乳幼児等・こども医療費助成事業	1	2	3	4	5
新婚世帯家賃補助金交付事業	1	2	3	4	5
若者定住促進奨励金交付事業	1	2	3	4	5
転入者住宅取得奨励金交付事業	1	2	3	4	5
相生っ子学び塾事業	1	2	3	4	5

問 25 「子育て応援都市」として上記の事業以外にどのような事業が必要だと思えますか。ご自由にご記入ください。

問 26 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

満足度が低い ←—————→ 満足度が高い

	不満	やや不満	どちらでもない	やや満足	満足
地域における子育て環境や支援への満足度	1	2	3	4	5

問 27 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。